

号外 風間浦村災害情報

令和3年8月10日（火）

台風9号から変わった温帯低気圧の影響で下北や上北地方を中心に大雨となった。
10日午前5時村内全域に避難指示を発令、各地区の避難所開設。
むつ市大畑町の国道279号に架かる小赤川橋が崩落。大量の泥と流木が一面を埋め尽くす。
土砂崩れや、道路冠水が発生し道路が寸断された。このため下風呂地区621人、桑畑地区100人が孤立状態となった。
午後4時50分易国間、蛇浦地区の避難指示解除・避難所閉鎖。
10日午後5時現在で、むつ市と風間浦村の一部で停電となった。

令和3年8月11日（水）

むつ市と風間浦村合わせて718人孤立。道路の復旧作業が続く。
むつ市が仮設橋設置には少なくとも2週間かかると発表。
避難した住民の健康調査支援のため、県は、むつ保健所より3人の職員を派遣、災害福祉支援チーム派遣も調整。
村は避難した住民に、食料や飲料水、タオルなど物資を届けた。
物資輸送などのため、不通となっている国道の易国間一下風呂間（約10km）で土砂の撤去作業を進め、1車線確保まで残り4kmとなった。
下風呂地区と桑畑地区では、停電やケーブルの断線により、テレビがつかず、情報はスマートフォン頼り。
水道と電気は復旧の目処が立たない状況。
午後4時桑畑地区の避難指示解除、避難所閉鎖。
午後5時半頃、下風呂地区の一部で電気が復旧。水道は断水が続く。
陸上自衛隊と消防団、村職員が、崩落した小赤川橋のむつ市側から風間浦村側へ人力で物資を運搬した。

令和3年8月12日（木）

下風呂温泉郷に観光で訪れていた5宿泊施設の57人を、陸上自衛隊及び下北消防が、午前9時頃から崩落した橋の歩道部分を利用して慎重に渡った。
小さい子どもが数人いたが、消防隊員に抱きかかえられて移動。
むつ市が用意したバスに乗り込み、JR大湊線下北駅へと向かった。
さらに、下北地域で警報級の大雨が予想されるため、12日夜に桑畑地区48世帯100人に対して村が避難指示を発令、避難所開設。
依然、下風呂地区では断水が続く。
国道の下風呂一桑畑間は土砂撤去作業が難航し一車線を確保するには残り2.2kmとなった。
むつ市と風間浦村で、最大3,791戸の停電となっていたが、14戸まで縮小。

令和3年8月13日（金）

午前6時桑畑地区避難指示解除、避難所閉鎖。
村内の被害では、床上浸水は7戸、床下浸水は30戸。下風呂地区621人の孤立状態が続く。
被災した小赤川橋の仮橋完工は早ければ18～22日頃設置予定と県から発表があった。
国道の土砂撤去も進み、残る通行不能区間は、下風呂焼山地区の0.6kmとなった。
仮橋は国土交通省東北地方整備局が所有する「応急組立橋」で、この仮橋を架けるのは東北地方で初

令和3年8月15日（日）現在のライフライン復旧状況

- 電 気・・・下風呂地区の一部で停電
- テレビ・・・蛇浦・易国間地区⇒北海道関係の放送のみ視聴可能
桑畑地区⇒視聴不可
下風呂地区⇒青森関係の放送のみ視聴可能
(※青森関係の放送は下風呂地区で受信・北海道関係の放送は易国間地区で受信)
- 水 道・・・下風呂地区のみ断水。復旧時期は未定。
下風呂地区住民及び作業関係者を対象に下風呂温泉「海峡の湯」を無料開放。
- 物 資・・・朝・昼・夕の食事等を「旧下風呂小学校」と「海峡の湯」で配給。
- 道路状況・・・国道の桑畑一下風呂区間は片側のみ開通したが、通行できるのは、緊急車両及び工事車両のみで、一般車両は安全性が確保されるまでは通行不可。

災害現場の写真は裏面に掲載



↑ 畑尻ノ下地区 (土砂崩れ)



↑ 小赤川橋 (崩落)



↑ 焼山ゆずりあい車線 (土砂崩れ)



↑ 北館工業前 (土砂崩れ)



↑ 易国間～桑畑間国道 (土砂崩れ)



↑ 立石地区 (土砂崩れ)

△ 災害支援寄付について △

現在ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」にて災害支援寄付を募集しております。
代理寄附を行ってくださっている「むつ市」「茨城県大洗町」「弘前市」の皆様へ感謝申し上げます。

8月15日 (日) 15:00現在

窓口開設11日～	むつ市	2,219,300円／194件
” 11日～	大洗町	416,000円／ 44件
” 13日～	弘前市	415,000円／ 29件

SNS等でPRをよろしくお願いいたします。

その他、各地域から多数の支援物資をいただいております。ありがとうございます。

この度の豪雨により、被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
また、村民の皆様にも、大変ご不便をお掛けしておりますが、ライフラインの復旧に全力で取り組んでおりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

風間浦村長 富岡 宏